

一、 本會は、前年同様、大正十一年の調査結果を基として、本年度の調査結果を報告する。
 二、 本年度の調査結果は、前年同様、大正十一年の調査結果とほぼ同様の傾向を示している。
 三、 本年度の調査結果は、前年同様、大正十一年の調査結果とほぼ同様の傾向を示している。
 四、 本年度の調査結果は、前年同様、大正十一年の調査結果とほぼ同様の傾向を示している。
 五、 本年度の調査結果は、前年同様、大正十一年の調査結果とほぼ同様の傾向を示している。
 六、 本年度の調査結果は、前年同様、大正十一年の調査結果とほぼ同様の傾向を示している。
 七、 本年度の調査結果は、前年同様、大正十一年の調査結果とほぼ同様の傾向を示している。
 八、 本年度の調査結果は、前年同様、大正十一年の調査結果とほぼ同様の傾向を示している。
 九、 本年度の調査結果は、前年同様、大正十一年の調査結果とほぼ同様の傾向を示している。
 十、 本年度の調査結果は、前年同様、大正十一年の調査結果とほぼ同様の傾向を示している。

財団法人協同調査会
 大正十一年
 調査報告書

六 緊急動議

本部主事 川村保太郎

大會開催地ハ從來持廻リトシ次回ハ小倉ニ於テ開催スルコトヲ承認サレタイ

尙會場、日時ハ中央委員會ニ一任サレタイト諦リ滿場一致可決ス

七 會計審査委員會報告 (可決)

委員長 阪口若松

審査ノ結果違算ナキコトヲ報告スルト同時ニ諸君ニ訴ヘタイコト
 ハ本部ノ帳尻ガ貧弱ナルコトヲ痛感シタノデ各自ハ本部ノ財政ヲ
 充實スル爲メ未組織ノ獲得ニ邁進サレン事ヲ御願ヒスル次第デア
 ル

八 役員詮衡委員會報告

委員長 大平嘉三郎

詮衡ノ結果ヲ次ノ如ク發表シ滿場一致承認ス